



2022 年 冬号

LETTERS

公益財団法人
佐倉国際交流基金

〒285-0025

佐倉市鎗木町 198 番地 2

TEL・FAX 043-484-6326

半世紀をめざす「佐倉市国際文化大学」

佐倉国際交流基金が 1988 年に創立され、その 2 年後に基金の中核事業の一つに国際相互理解を深め国際感覚を備えた市民の育成を目指す市民大学として、佐倉市国際文化大学（以下「文大」と表示）が設立され今年で 33 年目に入りました。

文大は毎年 3 月に受講生を募集（注 1）して、5 月中頃に開講し夏休みを挟んで 11 月末まで、土曜日ないしは日曜日の午後に年間 22 回の講座を開講しています。

講座カリキュラムは毎年組み替えられ、国際相互理解、多文化共生社会、国内外の政治経済課題、文化芸術や科学事象等を主要なテーマにしながら、多岐にわたる、時節にミートした課題（注 2）を取り上げ、毎回の講座には第一線で活躍される大学教授、専門家、ジャーナリスト等を講師にお迎えしています。

講師から 90 分間プレゼンテーションいただいた後に、受講生から出てきた沢山の質問に講師がお答えされ一層の理解を深めていきます。そのうち 2 回は公開講座として市民の方々もご参加いただき、毎回約 200 人の熱心な市民が講座を聴講されています。



文大 30 周年記念講演・磯村 尚徳先生



2022 年公開講座・阿古 智子先生



2022 年 課外授業・DNA 研究所見学



2018 年 ゼミ自由研究発表会

文大では講座以外に、受講生の自由参加による自主ゼミ活動、1 日バスをチャーターしての課外活動、グループ・ディスカッション、関心度の高いテーマを 1 件取り上げたレポート制作等もアレンジされて、仲間作りも行いながら参加者全員とても充実した学習活動や交流活動を楽しむことができます。

受講生の定員は 100 人（この 3 年間はコロナ感染防止のため 90 人に減員）、参加者の平均年齢は 70 歳を越えますが、若手世代や女性の参加は大歓迎です。

文大の運営は、カリキュラム編成、講師との登壇交渉、毎回の講座運営（注 3）まで、すべて文大 OB で構成される事務局員のボランティア活動で支えられています。

今や文大は、市民のニーズに応える一層充実した生涯学習大学を目標にして、半世紀の事業継続を目指しています。

（注 1）. 毎年 3 月初めに基金ホームページ、こうほう佐倉、募集チラシやポスター等で募集告知

（注 2）. 最近の講座構成：国際関係・外交安全保障 28%、政経課題 24%、

多文化共生 5%、歴史文化芸術 33%、科学事象 10%

（注 3）. 教場の設営、講義資料の製本印刷、講師との諸対応、講義録等の編集発行

（佐倉市国際文化大学 事務局長 鈴木昭寛）

第33回佐倉国際スピーチコンテスト

2022年10月23日(日)にミレニアムセンター佐倉にて開催されました。幼児～小学生の午前の部には19名、中学生～シニアの午後の部は23名、その内6名のシニアが出場してくださいました。

今年は「みんなでつくる英語発表会」を目指し、会場のみなさんがそれぞれの視点で「一番良い」と思った発表に投票し、最多数を獲得した人に授与される「佐倉国際交流基金賞」を設けました。また、「ペア参加可・テーマは自由・小道具や衣装の着用可」としたことから、伝えたいスピーチ内容にそれぞれの個性が加わり、より生き生きと表現されており、英語のスピーチ力だけではなく、いかに聴衆を引き込むかというパフォーマンス力の高さを感じました。今回の経験が参加者皆さんの自信と新しい場所へ踏み出す勇氣になったことと願っています。

来年度のスピーチコンテストにも、ぜひ挑戦してください。ご家族ご友人のご参加もお待ちしております。

入賞者は以下の通りです。



受賞者 ※敬称略【幼児～小学生 午前の部】

賞	氏 名	所 属	学年
佐倉国際交流基金賞	相川 夢翔	佐倉市立寺崎小学校	5年
	継山 宙良	佐倉市立根郷小学校	
審査員賞	藤原 葵生	佐倉市内小学校	3年
審査員賞	大澤 翔	佐倉市立南志津小学校	4年
審査員賞	小川 敬	佐倉市立青菅小学校	5年
特別賞	小野 瑛司	佐倉市立西志津小学校	2年
	小野 聖奈		4年

<http://www.sief.jp/22/22-top.html>

コンテストの詳細や他の受賞者のインタビュー回答は HP にて



受賞者 ※敬称略【中学生～シニア 午後の部】

賞	氏 名	所 属	学年
佐倉国際交流基金賞	鵜澤 さくら	国府台女子学院高等部	1年
審査員賞	園川 明浩	佐倉市在住	シニア
審査員賞	中澤 美佳	芝浦工業大学柏中学校	2年
審査員賞	岡山 絢花	佐倉市立佐倉中学校	3年
特別賞	鈴木 聖渚	成田市立玉造中学校	1年



受賞者 インタビュー



Q1. 佐倉国際スピーチコンテストへの出場のきっかけは？

Q2. コンテストの感想を聞かせてください。

Q3. スピーチのこだわりのポイントや練習に力入れたことは？

Q4. 今後どのように英語を活かしたいですか。将来の夢や目標などがありましたら教えてください。

質問の回答は A1. ～A4. と表記しています。

佐倉国際交流基金賞

鵜澤 さくら さん 国府台女子学院 高等部 1年
スピーチテーマ 『I stand with Ukraine』

A1. 自分の英語の能力をスピーチの分野で評価してもらいたかったから。

自分の意見は相手にどのような印象を残すのか知りたかったから。

A2. 他の参加者の方のスピーチを聞くことがとても楽しく、興味深かった。

いろんな年齢層のスピーチを聞いたので、どんな世代がどんな話題を選ぶのか、どんな意見を持っているのかがわかりました。

今回のスピーチコンテストは英語の技能や発音だけではなく、人を感動させる内容が一番重要だということがわかりました。

A3. ウクライナの問題が日常化している今、私がスピーチをすることで、もう一度世界の問題を考えるきっかけを聞いている人に作りたかったの、伝わりやすい文章を作ることを意識しました。スピーチの文章を作る段階が一番大変でしたが、とても良い経験になったと思います。

A4. 英語を第一言語とするような仕事に就きたいなと思います。また、積極的に外国人の方と交流したいと思います。



穴倉理事長の挨拶

第4回 日本語講座のつどい

11月20日(日)

中央公民館

本年、3年ぶりに日本語講座のつどいが開かれました。佐倉国際交流基金の日本語講座の学習者と東京さくら学院の学生から出場者を募り、スピーチの部・交流の部の2部構成で行いました。スピーチの部では、高校生から会社経営者まで幅広い層の学習者の方が日本での生活や日本で感じたことなどを発表、これまで日本語を勉強してきた成果を発揮してくださいました。また、交流の部では、学習者の方に歌やダンス、民族楽器の演奏を披露していただき、盛り上がりを見せました。さらに、日本舞踊の鑑賞をしたり、伝統的な遊びであるけん玉の体験をしたりと、日本の文化を体感していただき、いい交流の機会になったと思います。このつどいが、今後のみなさんの学習意欲につながれば幸いです。

第4回日本語講座のつどい実行委員長 本多美咲



本多実行委員長



中国 イさん
日本語で司会を務める



アメリカ ビクターさん
「アメリカン演説」



ベトナム 東京さくら学院のみなさん



アフガニスタン
ラジックさん
「学校と生活の経験」



中国 エイブンさん
「日本に来て」



中国 ヒンさん
「肌で感じた季節の隙間」



タイ しおりさん
「タイと日本の違い」

台湾 ソウさん
「私の仕事と
日本に移住し、
YouTuberに
なったこと」



ネパール リタさん
「はじめまして」



ネパール マンディラさん
「感謝の心」

インドネシア
インドラさん
「Love So Sweet (嵐)」



アフガニスタン
モハンマドさん
「民族楽器 ダンブラ演奏」



日本 遠藤さん
「日本舞踊」



ネパール
マンディラさん
& プザさん



ネパール アトミカさん
「日本語の歌 YUME 日和」



13か国、約130人の方に参加いただきました。
終演後、福引き大会を行い大盛況に
終わりました！



Sakura Bell Ringersのみなさんによるハンドベル演奏



学習者も参加し、「きらきら星」を合奏しました♪

AIUE さくら染井野の先生と子どもたち「けん玉で遊ぼう」



ピアノのリズムに合わせて色々な技に挑戦！

ご 案 内

◇国立歴史民俗博物館

【企画展示】

「いにしえが、好きっ！－近世好古図録の文化誌－」

2023年3月7日（火）～ 5月7日（日）

【第4展示室特集展示】

「来訪神、姿とかたち－福の神も疫神も異界から－」

2023年1月17日（火）～ 5月14日（日）

【第3展示室特集展示】

「中世公家の＜公務＞と生活－広橋家記録の世界－」

2023年3月7日（火）～ 5月7日（日）

【くらしの植物苑特別企画】

「冬の華・サザンカ」

2022年11月29日（火）～ 2023年1月29日（日）

*開館時間・休館日等、最新情報は
ホームページ等でご確認ください。

<https://www.rekihaku.ac.jp>



七福神（サザンカ群）

◇D I C 川村記念美術館

「マン・レイのオブジェ」

2022年10月8日（土）－ 2023年1月15日（日）

「芸術家たちの南仏」

2023年3月11日（土）－ 2022年6月18日（日）

開館時間：9:30－17:00（入館は16:30まで）

休館日：月曜日

*最新情報はDIC 川村記念美術館 HP でご確認ください。

<https://kawamura-museum.dic.co.jp>



◇SIEF 2023年の予定

◆3月 イングリッシュサロン 2023年度参加者募集開始

◆3月 佐倉市国際文化大学 2023年度受講生募集開始

詳細はこうほう佐倉3月号 佐倉国際交流基金ホームページにて

SIEF の生活相談員のみなさんで「こうほう佐倉」の

情報を元に、外国人の方にも分かりやすい日本語で、「佐倉市のお知らせ
やさしい日本語版」を毎月発行しています。SIEF 事務局や公共施設に置いて
います。お近くに平仮名が読める外国人がおられましたら、お渡しください。

外国人のための生活相談

電話、面談による相談を受け付けています。行政などの依頼を受けて、相談員と登録ボランティアが
行政や他の外国人支援団体などと協力して、外国人に対する直接支援活動を実施しています。

スペイン語・英語・中国語 時間：10:00～16:00 場所：事務局 他

事前の予約は、事務局まで（電話・FAX 043-484-6326 メール info@sief.jp）

【例】 幼稚園、小中高の保護者面談の通訳、市役所の同行など、その他
周りにお困りの外国人住民の方がおられましたら、SIEF までご相談ください。



佐倉国際交流基金 事業報告

1 国際相互理解推進事業

- 公開講演会
- 佐倉市国際文化大学
- 佐倉国際スピーチコンテスト
- イングリッシュサロン

2 国際交流活動支援事業

- 国際交流団体へ助成

3 外国人支援事業

- 外国人のための日本語講座
- 外国人のための生活相談

4 その他附帯事業

- 国際交流ボランティア活動
- 後援事業
- 国際交流活動等情報提供

当基金は運営ボランティアの皆様と
賛助会員様のご理解とご協力の元に
運営しております。
ご支援賜り厚くお礼申し上げます。
心より感謝致します。

公益財団法人 佐倉国際交流基金 事務局 (SIEF) 関口・村瀬・古澤

〒285-0025 佐倉市錦木町 198 番地 2 レインボープラザ佐倉 2F

電話・Fax 043-484-6326（月～金 9:00～17:00）HP: <http://www.sief.jp> Email: info@sief.jp